

# 「場」に関するアンケート調査（素案）

## I 目的

過疎地域の中でも、社会増を実現しているなど活力が維持・向上している地域においては、共通項として、人と人が集まり、対話し、交流する「場」の存在があるのではないかと考えられる。このような「場」について、具体的な取組を調査する。

## II 対象団体

過疎関係市町村及び卒業団体 926市町村

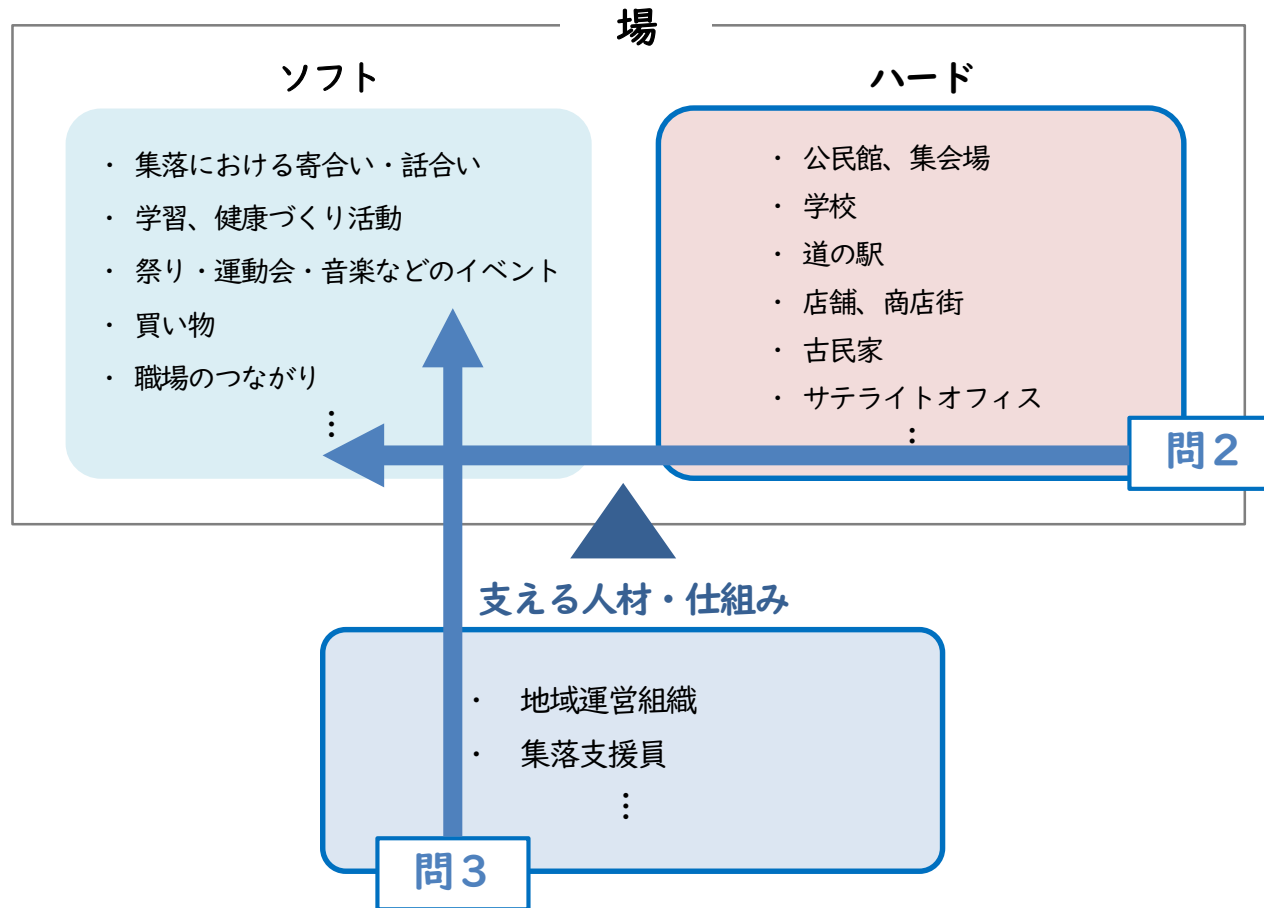
## III 調査時期

R5年12月～R6年1月（予定）

## IV 調査項目

- 1 市町村単位での社会増の要因  
社会増となった市町村について、特有の事情によるものを区分
- 2 ハードとしての「場」  
地域住民などのコミュニケーションの場となっている施設について調査
- 3 「場」を支える人材・仕組み  
地域コミュニティの活性化につながっている地域運営組織、集落支援員などの活動を調査

# 調査のイメージ



## 具体的な調査内容（質問と選択肢）

### Ⅰ 市町村単位での社会増の要因

問Ⅰ H22～R2の10年間で社会増している要因は。

#### [考え方]

特有の事情で社会増している団体を把握。これらの団体を除いて分析すると、共通項が見えやすくなるのではないかと。

[選択肢]（最も影響している要因を最大3つまで選択、可能な限り定量的に人数を記載）

- ① 公共事業等工事関係者の一時的流入
- ② 病院・老人ホーム等の医療・福祉施設の入所者・職員の増加
- ③ 企業立地等による雇用の拡大
- ④ 交通体系の整備による近郊都市の通勤圏・ベッドタウン化
- ⑤ 宅地分譲、公営住宅建設等の住宅整備
- ⑥ 自然環境等を求めての移住・定住
- ⑦ 独自の活性化施策による移住・定住
- ⑧ 地域留学・山村留学による学生・家族の増加
- ⑨ その他（具体的に記載）

## 2 ハードとしての「場」

問2 地域住民などが集い、対話し、交流する、コミュニケーションの場所として重要な役割を果たしている施設は。  
(特徴的な取組が行われている施設を3つまで回答)

### [考え方]

ハードとしての「場」に着目し、特徴的な施設や活動について把握。

### 2-1 施設名

### 2-2 施設を拠点とした活動内容

(地域住民などのコミュニケーションの活性化につながっている活動を選択したうえで、具体的な内容を記載)

#### [選択肢]

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| ① 住民交流 (イベント、集会等)     | ⑥ 商店 (日用品等の販売)      |
| ② 生涯学習                | ⑦ 飲食 (カフェ・食堂など)     |
| ③ 健康づくり               | ⑧ 観光 (宿泊施設、自然体験等)   |
| ④ 高齢者支援 (高齢者の見守り・交流等) | ⑨ 特産品づくり・販売 (直売所など) |
| ⑤ 子育て支援               | ⑩ その他               |

### 2-3 活動を支援している人材・組織

#### [選択肢]

- |             |                 |                |
|-------------|-----------------|----------------|
| ① 地域おこし協力隊  | ② 集落支援員         | ③ 行政職員         |
| ④ 元地域おこし協力隊 | ⑤ 元集落支援員        | ⑥ 元行政職員        |
| ⑦ 地域運営組織    | ⑧ NPO法人・地域づくり団体 | ⑧ その他 (具体的に記載) |

### 2-4 活動の効果

### 3 場を支える人材・仕組みの状況

問3-1 地域運営組織のうち、地域コミュニティの活性化につながっている団体、その活動は。

(R元年度以前から活動している組織を3つまで回答)

#### [考え方]

地域運営組織の活動量が多いほど、転出抑制につながっているのではないかという仮説のもと、地域コミュニティ活性化に寄与している地域運営組織の活動事例を調査。

3-1-1 地域運営組織の名称

3-1-2 活動地域

3-1-3 活動内容 (地域コミュニティの活性化につながったと考える活動を3つまで具体的に記載)

3-1-4 活動の効果

3-1-5 当該地域における人口 (H22, R2)

※ 総務省地域振興室「地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する調査」において、地域運営組織ごとに、設立年、活動内容、支援人材、活動拠点などについて調査を行っており、これらとあわせて分析

### 問3-2 集落支援員の活動のうち、地域コミュニティの活性化につながっている活動は。

(R元年度以前から継続して活動している地域について3つまで回答)

#### [考え方]

集落支援員の活動量が多く、集落の維持・活性化のための取組が進んでいるほど、転出抑制につながっているのではないかとする仮説のもと、地域コミュニティ活性化に寄与している集落支援員の活動事例を調査。

#### 3-2-1 活動地域

#### 3-2-2 活動内容 (地域コミュニティの活性化につながったと考える活動を3つまで選択したうえで、具体的な内容を記載)

##### [選択肢]

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| ① 集落が抱える課題の点検・整理         | ⑩ 空き家の調査や入居希望者への紹介、移住者への支援 |
| ② 集落の巡回・戸別訪問             | ⑪ 他地域との交流                  |
| ③ 住民間の集落のあり方についての話し合いの促進 | ⑫ 地域行事の企画・実施支援             |
| ④ 高齢者の見守り、買い物などの生活上の支援   | ⑬ 草刈り・獣害対策・農作業             |
| ⑤ 住民と行政の連絡役              | ⑭ 情報誌作成などの情報発信             |
| ⑥ 集落と行政以外の民間団体との連絡役      | ⑮ 防災訓練等の支援                 |
| ⑦ 集落活性化のための構想や計画の作成支援    | ⑯ 伝統文化・行事(祭り等)の継承・復活       |
| ⑧ 自治会等の地域組織の活動支援         | ⑰ その他(具体的に記載)              |
| ⑨ 地域のコミュニティ組織の事務局        |                            |

R4年度に(一社)全国過疎地域連盟が実施した「集落支援員の活用に関する調査研究」におけるアンケート調査のうち、集落支援員向け調査・問9「集落支援員として、どのような活動に従事されていましたか」の選択肢

#### 3-2-3 活動の効果

#### 3-2-4 当該地域における集落支援員の活動年数(開始時期)

#### 3-2-5 当該地域における集落支援員の属性

#### 3-2-6 当該地域における人口(H22, R2)

### 問3-3 上記のほか地域コミュニティの活性化につながっている人材・仕組みは。